

一般講演4月4日(水)第1日午前・午後

	第1会場(2F農林ホール)	第2会場(3F第1講義室)	第3会場(3F第2講義室)	ポスター会場(3F展示会議室)
8:30	受付(3Fロビー)	受付(3Fロビー)	受付(3Fロビー)	受付(3Fロビー)
9:15	総会・学会賞授賞式・受賞者講演	閉場	閉場	
11:30	国際ミニシンポジウム「Herbicide Resistant Weed in Korea」 オーガナイザー: 国際交流委員会 藤井義晴(東京農工大) 1 Strategic Management of Herbicide-Resistant Weeds in Rice field of Korea (O Tae-Sun Park and Hang-Won Kang (National Institute of Crop science (NICS), RDA, Korea)) 2 Herbicide resistant <i>Echinochloa</i> species in Korean paddy fields: True or False? (O Do-Soon Kim, Soo-Hyun Lim, Shin-Wook Kang, Jong-Seok Song, Jin-Won Kim (Seoul National University, Korea)) 3 Development of naturally degradable rice polymer for the control of common weeds and herbicidal resistant weeds in paddy field (OChung-Kil Kang)	ミニシンポジウム「技術士の薦め—植物保護分野における技術士の役割、資格取得状況および試験対策—」 オーガナイザー: 渡邊寛明(中央農研) 27 技術士の役割と資格取得状況(濱本 宏(法政大)) 28 技術士受験体験談(平瀬寒月(三井化学アグロ株式会社)) 29 技術士受験体験談(浅井元朗(中央農研))	ミニシンポジウム「雑草における雑種形成をめぐる諸課題」 オーガナイザー: 富永達(京都大) 51 西アフリカにおけるトウジンビエの作物・雑草複合(三浦 励一(京都大))	ポスターを10:00までに掲示してください。 ■ポスター説明1(奇数番号) 4月4日13:00-14:00 ■ポスター説明2(偶数番号) 4月5日8:30-9:30 ■ポスター公開は4月5日15:00までです。 ■ベストポスター賞の投票受付は4月5日12:30までです(投票をこの時間までに済ませてください)。
12:15	昼食			
13:00	閉場			ポスター発表(奇数番号)
14:00	シンポジウム「私たちの生活と生物多様性」 基調講演「植物(作物)が多様であること」河瀬真琴(独)農業生物資源研究所 一般講演①「農耕地への外来雑草の侵入・拡散」浅井元朗(独)農研機構 中央農業総合研究センター 一般講演②「緑地植物の生物多様性影響と管理コスト」山本勝利(独)農業環境技術研究所 一般講演③「遺伝子組換え作物の生物多様性への影響を評価するモデル」吉村泰幸(独)農業環境技術研究所 総合討論	閉場	閉場	ポスター公開
17:00	終了			

一般講演4月5日(木)第2日午前

	講演番号 分類番号	第1会場 (2F農林ホール)	座長	講演番号 分類番号	第2会場 (3F第1講義室)	座長	講演番号 分類番号	第3会場 (3F第2講義室)	座長	ポスター会場(3F展示会議室)
8:30		閉場		閉場			閉場			ポスター発表(偶数番号)
9:30	4 2-1	寒冷地有機水田における稲わらの分解と雑草害発生との関係 ○三木孝昭・岩石真嗣・阿部大介・加藤茂(自然農法センター)	内野 彰(中央農研)	30	宮城県の水田地帯におけるアレチウリの発生状況と大豆作圃場での発生生態 ○安藤慎一郎・辻本淳一・大川茂範(宮城古川農試)	浅井元朗(中央農研)	52	大阪市立大学理学部附属植物園における雑草フロラ～過去と現在～ ○山下 純(岡山大・植物研)・岡崎純子(大阪教育大)・植松千代美(大阪市大)	三浦 励一(京都大学)	ポスター公開
9:45	5 2-1	水稲有機栽培における数種乗用形除草機による抑草効果 ○山元義久・須藤健一(兵庫農総セ)・河原路子・庄司浩一(神戸大)・鍋谷敏明・戸田一也(兵庫農総セ)・中島孝子(丹波農改)・伊藤一幸(神戸大)		31	三重県鈴鹿市のコムギーダイズ栽培体系圃場におけるアレチウリの発生と防除 ○徐 錫元(協友アグリ)		53	棚田畦畔およびその周辺における外来雑草ネズミギの侵入状況 ○根岸春奈・丹野夕輝(岐阜大・院・連農, 静岡大・農)・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・市原実(静岡農林研)		
10:00	6 2-1	水田内の高低を考慮した残草調査と除草機の評価について ○庄司浩一・伊藤一幸・河原路子(神戸大学)・須藤健一・山元義久(兵庫農総セ)		32	愛知県内のダイズ-水稲栽培体系圃場で見られたクサネムとアメリカツノクサネムの発生と防除 ○徐 錫元(協友アグリ)		54	土壌微生物による埋土種子死滅がコハコベの局所分布を規定する 米澤秀夫・楠瀬慎也・岡岡俊人(福井県大)		
10:15		休憩		休憩			休憩			

講演番号 分類番号	第1会場 (2F農林ホール)	座長	講演番号 分類番号	第2会場 (3F第1講義室)	座長	講演番号 分類番号	第3会場 (3F第2講義室)	座長	ポスター会場 (3F展示会議室)
10:30 7 2-1	田植機の枕地均平装置処理がコナギの発生に及ぼす影響 ○安達康弘・月森弘(鳥根県農業技術センター)・宮副治郎・石倉一憲(ヤンマー農機販売株式会社)	酒井長雄(長野農試)	33	ロータリ耕による碎土程度が畑雑草の発生に与える影響 ○植原愛・酒井憲司(東京農工大)	大隈光善(植調福岡試験地)	55	チガヤ種内2型とそれらの雑草の日本における分佈 三好郁哉・下野嘉子・三浦勲一・富永達(京大)	中谷敬子(中央農研)	
10:45 8 2-1	2回代かきがコナギの発生と水稻の初期生育におよぼす影響 ○月森弘・安達康弘(鳥根県農業技術センター)		34	ダイズ生育期におけるグリホサートカリウム塩液剤の雑草塗布処理技術第4報ー塗布処理が種子形成と発芽能力に与える影響および作業性の検討ー ○三上綾子・辻本淳一(宮城古川農試)・平智文(宮城県病害虫防除所)・阪上和久・小路聡・岩橋未浩・山下修(シジエンジャパニ株)・梁瀬俊之(株サエー)		56	イヌビエおよびヒメイヌビエによる土壌からのカドミウム吸収能 村口恭子・小林勝一郎(筑波大学)		
11:00 9 2-1	新鮮有機物の施用によるコナギ抑草効果に及ぼす各種環境条件の影響 ○内野彰・青木大輔・今泉智通・岩上哲史(中央農研)・安達康弘(鳥根農セ)・野副卓人・三浦重典(中央農研)		35	草高/葉間比を要防除期間の指標とした大豆栽培におけるマルバルコウ防除 ○黒川俊二・澁谷知子(中央農研)		57	北部九州の農耕地周辺における帰化アザガオ類とマメ科野生資源植物との競合 ○保田謙太郎(秋田県大)		
11:15 10 2-1	宮城県の水稲栽培圃場における難防除雑草の多発要因ーリスクマップの検証と管理履歴を基にしたリスク評価ー ○大川茂範(宮城古川農試)	小荒井晃(九州沖縄農研)	36	直接支援対策に対応した環境保全型大豆栽培技術のLCA 好野奈美子・小林浩幸・内田智子・森本晶・山下伸夫・村上敏文・高橋義彦(東北農研)	大段秀記(九州沖縄農研)	58	つくば市における、ダイズとツルマメの開花重複度シミュレーション ○大東健太郎・吉村泰幸・松尾和人(農環研)・水口亜樹・中谷敬子(中央農研)	中山壮一(東北農研)	ポスター公開
11:30 11 2-1	自走式蒸気除草機の処理が地温および雑草イネ種子の発芽におよぼす影響 ○酒井長雄・青木政晴・土屋学(長野農試)・浅井元朗・西村愛子(中央農研)・中澤克明(佐久農改)・中村浩也・高山英行・松井良共(丸文製作所)		37	サトウキビ畑に発生したヤブガラシ類防除のための茎葉処理型除草剤の選択 ○比屋根真一(沖縄県農業研究センター石垣支所)・山口悟・與儀喜代政・高江洲賢文(沖縄県農業研究センター)・大城篤(沖縄県農業研究センター名護支所)・安仁屋政竜(南部農業改良普及センター)		59	エンマコオロギによる種子捕食は外来雑草ネズミムギの発芽エスケープを促すか? ○内田 智・早川雅章・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・足立行徳(岐阜大院・連農)・静岡大・農)・市原 実(静岡農研)		
11:45 12 4	西アフリカ、ガーナ産スズメコゴエ(<i>Paspalum scrobiculatum</i>)の種子休眠性と選択性除草剤による防除効果 ○内野彰(中央農研)・森田弘彦(秋田県立大)・Inusah, Yahaya・Alhassan Zakaria (SARI, Ghana)・松嶋賢一・辻本泰弘・坂上潤一(国際農研)		38	表圃での除草剤散布翌日の大雨が除草効果に与える影響 ○古賀巧樹・大隈光善・山口晃・西田勉(植調 福岡試験地)		60	乾燥後熟にともなうネズミムギの休眠解除に関するThermal timeモデル ○足立行徳(岐阜大院・連合農学)・静岡大・農)・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・浅井元朗(中央農研)		
12:00	昼食				昼食				
12:45 13 3-1	新規水稲用除草剤メタゾスルフロンに関する研究 ○矢野哲彦・佐伯学・小林弘・玉田佳文・中屋彦彦・森本勝之(日産化学工業株式会社)	濱村謙史朗(植調研究所)	39	ピロキサスルホン剤のコムギ作における問題雑草に対する除草効果 ○佐藤敦・板屋大吾・朝倉草平・花井涼(クミアイ化学工業株)	金久保秀輝(植調研究所)	61	キク科ハマベノギク属植物を用いた環境適応に関する形態学的研究 ○早川宗志(農環研)・トナラ・宮田晴希(高知大院農)・南谷幸雄・伊藤桂(高知大農)・ステファンWゲイル(Kadoorie Farm Bot. Gard)・横山潤(山大理)・荒川良・福田達哉(高知大農)	水口亜樹(福井県立大)	ポスター公開
13:00 14 3-1	ピリミスルファンの水稲用中・後期剤としての適用性 除草剤ピリミスルファンに関する研究(4) ○高山尊之・菅原秀美・朝倉草平・花井涼(クミアイ化学工業株)		40	長野県のコムギ栽培におけるツノミナズナの萌芽消長と各種除草剤の防除効果 ○青木政晴(長野農試)・浅井元朗(中央農研)・酒井長雄(長野農試)		62	冬生一年草の生活史期間可塑性を支配する未発芽種子バーナリゼーション:その季節リズムと遺伝子単離 ○桐山晃平・高橋智子・杉山祐一・吉岡俊人(福井県大)		
13:15 15 3-3	水稲直播水田におけるシハロホップブチル抵抗性ヒメイヌビエの発生確認 ○那須英夫(全農おかやま肥料農業課)		41	ピロキサスルホン剤の処理時期、処理薬量がネズミムギの防除効果に及ぼす影響 ○浅井元朗(中央農研)・本田久志・小林正典・山地充洋(クミアイ化学)		63	ガーナ共和国のサバナ低湿地稲作圃場の土壌からの雑草の萌芽に及ぼす水分の影響 ○森田弘彦(秋田県立大)・内野彰(中央農研)・Inusah, Yahaya (SARI, Ghana)・Alhassan, Zakaria (SARI, Ghana)・辻本泰弘(国際農研)・坂上潤一(国際農研)		
13:30 16 3-3	イヌホタルイのSU抵抗性バイオタイプの顕在化に与える種子発芽特性の影響 ○内野彰・今泉智通・浅井元朗・渡邊寛明(中央農研)	大川茂範(宮城古川農試)	42	暖地水田裏妻作におけるピロキサスルホン剤の除草効果 ○大段秀記(九州沖縄農研)・板屋大吾・花井涼(クミアイ化学)	小林浩幸(東北農研)	64	外来植物と在来植物間のリター分解速度の違い:生育形的重要性 ○齋藤達也(北大院環境)	川名義明(東北農研)	
13:45 17 3-3	山形県におけるスルホニル尿素系除草剤抵抗性オモダカノの発生実態と対策 ○松田 晃(山形農総研セ)・内野 彰(中央農研)		43	自走式蒸気除草機のコムギ収穫後処理によるネズミムギ種子死滅及び出芽抑制効果 ○石田義樹・木田揚一(静岡農研技研)・浅井元朗・西村愛子(中央農研)・中村浩也(丸文製作所)		65	水稲栽培の中干し期間に発生するタイヌビエの生育および結実条件の解析 ○三浦恒子・進藤勇人(秋田農技セ農試)・森田弘彦(秋田県立大)		
14:00 18 3-3	ALS遺伝子ファミリーの1遺伝子における変異でSU抵抗性が獲得されるか?ーミニズアオイとコナギを例にー ○伊藤達也・汪 光照(名城大)・劉 士平・小澤友理子・富永 達(京大)		44	自走式蒸気除草機による埋土種子の駆除効果と作業能率を高める最適処理条件の探索 ○西村愛子・浅井元朗・黒川俊二・澁谷知子(中央農研)・中村浩也(丸文製作所)		66	クサネム種子の死滅に及ぼす温度および湿度条件の影響 ○小荒井晃・住吉正・大段秀記(農研機構・九州沖縄農業研究センター)		

講演 番号 分類 番号	第1会場 (2F農林ホール)	座長	講演 番号 分類 番号	第2会場 (3F第1講義室)	座長	講演 番号 分類 番号	第3会場 (3F第2講義室)	座長	ポスター会場 (3F展示会議室)
14:15 19 3-3	神奈川県におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性コナギの分布 ○野村 研・久保深雪・山口元治(神奈川県農技セ)	関野景介(エス・ディー・エス・バイオテック)	48	ルソン島北部の傾斜畑のGMTウモロコシ栽培におけるガリー侵食の発生と残存雑草 ○伊藤一幸・藤原さゆり(神戸大・農)・南雲不二男(JIRCAS)・R. R. クレンシア・R. A. ティマノ・S. M. コントララス(BSWM)	村岡哲郎(植調研究所)	67	畦畔で結実したセンチビードグラス種子の消長解明に関する基礎研究～種子食動物による捕食との関係～ ○川口佳則(岡山大・環境生命科学研究科)・市原 実(静岡農林研)・沖 陽子(岡山大・環境生命科学研究科)	角龍市朗(保土谷UPL)	ポスター公開
14:30 20 3-5	水田直播栽培におけるビスピリバックナトリウム塩液剤の有効使用について ○中江彰伸(クミアイ化学工業株)・那須英夫(全農おかやま肥料農業課)		49	オオキンケイギク駆除技術の検討(2)-土壌pHの関連性- ○飯田拓生・松本裕史(鳥取大学農学部)・松本倫明・佐藤律司・長畑利彦(国土交通省岡山河川事務所)・西原英治(鳥取大学農学部)		68	わが国で市販されるヒメイワダレソウ4系統の結実特性 ○川口佳則・沖 陽子(岡山大・環境生命科学研究科)		
14:45 21 3-5	表面播種した直播水稲に対する除草剤の安全性 ○半田浩二・橋本匠人・濱村謙史朗(植調協会)		50	農村畦畔におけるシバ植栽法の検討 ○伏見昭秀(近中四農研)		69	センチビードグラスおよびヒメイワダレソウの葡萄茎断片の耐乾性および耐冠水性 ○川口佳則・沖 陽子(岡山大・環境生命科学研究科)		
15:00	休憩			休憩			休憩		
15:15	ミニシシボジウム「東日本大震災による被災農地の復興に向けての植生管理上の課題と対策」 オーガナイザー:小笠原勝(宇都宮大)・小林浩幸(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・嶺田拓也(農工研) 22 放射性物質に汚染された農地での生産再開に向けた雑草学の課題(小林浩幸(農研機構 東北農研)) 23 宮城県被災農地における植生管理上の課題と対策(大川茂範(宮城古川農試)) 24 津波被災農地の分類と植生管理の必要性(嶺田拓也(農研機構・農工研)・浅井元朗(農研機構・中央農研))	宮浦理恵(東京農業大)	70	エチゼンクラゲの生長抑制物質に関する研究 ○渡邊雄亮・杉本秀樹(愛媛大学)・加藤尚(香川大学)	宮浦理恵(東京農業大)	71	土壌を用いたプラントボックス法によるカバークロップのアレロパシ活性の検定 ○野村卓史(宇都宮大)・朴 昭英(農環研)・藤井義晴(東京農工大)	山路恵子(筑波大)	16:00までにポスター撤去してください。
15:30			72	Growth Inhibitory Activity of <i>Leucas aspera</i> on Different Test Plant Species ISLAM A.K.M. Mominul・KATO-NOGUCHI Hisashi (Department of Applied Biological Science, Faculty of Agriculture, Kagawa University)					
15:45			73	Comparison of the allelopathic potential of four semi-aquatic species ○Tran Thi Ngoc Bich・Kato-Noguchi Hisashi (Department of Applied Biological Science, Faculty of Agriculture, Kagawa University)					
16:00	ミニシシボジウム「知られざる雑草、隠れざる雑草;池底の未記載種と畦畔の絶滅危惧種」 25 オーガナイザー:吉岡俊人・赤井賢成(福井県立大) 池底等で見つかった未記載の雑草たち(赤井賢成(福井県大)) 水田畦畔雑草アゼトグリ(絶滅危惧 I B類)の生態(吉岡俊人(福井県大))	開場	74	Allelopathy of <i>Piper sarmentosum</i> Roxb. ○Pukclai Piyatida (香川大学大学院)・加藤尚(香川大学大学院)	山路恵子(筑波大)	75	Determining the management of <i>Papaver dubium</i> , an invasive weed in Japan by using cyanamide ○Saima Hashim (Univ. of Peshawar), Tsunashi Kamo (NIAES), Yoshiharu Fujii (Tokyo Univ. of Agr. and Tech.)	山路恵子(筑波大)	16:00までにポスター撤去してください。
16:15			76	Phytotoxic studies of medicinal plants from coastal area of Pakistan ○Muhammad Qasim, Muhammad Zaheer Ahmed(Univ. of Karachi), Kazuo N. Watanabe (Univ. of Tsukuba), Yoshiharu Fujii (Tokyo Univ. Agric. and Tech.), M. Ajmal Khan(Univ. of Karachi)					
16:30			77	転作田ダイズにおけるシロザおよびホソアオゲイトウの動態をモデル化する ○中山杜一(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・天羽弘一(畜草研)					
16:45	ミニシシボジウム「現場で使える研究成果とは?戦略的な外来種管理に向けての次の一歩-特定外来生物オオハンゴンソウを事例として-」 26 オーガナイザー:水口亜樹(福井県立大) 管理労力配分のゾーニング-どこを刈る?どこを抜く?どこを放っておく?-(大澤剛士(独立行政法人農業環境技術研究所)) 効率的な管理計画を考える-刈るべきか、抜くべきか、それが問題だ-(赤坂宗光(東京農工大学))	開場	77	転作田ダイズにおけるシロザおよびホソアオゲイトウの動態をモデル化する ○中山杜一(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・天羽弘一(畜草研)	山路恵子(筑波大)	77	転作田ダイズにおけるシロザおよびホソアオゲイトウの動態をモデル化する ○中山杜一(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・天羽弘一(畜草研)	山路恵子(筑波大)	16:00までにポスター撤去してください。
17:00			77	転作田ダイズにおけるシロザおよびホソアオゲイトウの動態をモデル化する ○中山杜一(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・天羽弘一(畜草研)					
17:15			77	転作田ダイズにおけるシロザおよびホソアオゲイトウの動態をモデル化する ○中山杜一(東北農研)・浅井元朗(中央農研)・天羽弘一(畜草研)					
17:30	終了						閉場		